

令和 7 年度

自己評価報告書

学校法人 薬師の杜学園

山形美容専門学校

令和 8 年 2 月

令和 7 年度 自己評価報告書

学校法人 薬師の杜学園
山形美容専門学校

自己評価について

学校法人薬師の杜学園山形美容専門学校は、前身の山形厚生専門学校に美容科を開設したのを始まりに、美容業界の発展のため必要な人材の育成に努めて参りました。卒業生は県外・県内はもちろん、海外でも活躍しています。

本校ではより良い学校運営の実施を目指して、文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にして自己評価に取り組んでおります。

今後も教育の質的向上にこの評価結果を活かし、時代に対応した業界に貢献できる学生の育成に努めて参ります。

1 対象期間 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

2 実施方法

(1) 校内に「自己評価委員会」を設置し、委員会を中心に評価を行っております。

委員会構成：校長、教頭、学年主任、事務長

(2) 評価は、「専修学校における自己評価ガイドライン」を参考に行っています。

(3) 評価は、年一回 2 月に行います。

(4) 評価結果の公開は、本報告書をホームページに掲載することにより行います。

3 自己評価の項目：自己評価は、以下の 6 項目について実施します。

(1) 教育理念・目的・目標

(2) 教育課程、教育の実施、学修成果

(3) 学生の受け入れ、学生支援

(4) 教育実施組織・教員

(5) 教育環境

(6) 教育活動の基盤と改善・向上の取り組み

4 評価項目に対する評価

評価は、各項目について 3 段階で行います。

3 基準を満たしており、特筆すべき取り組みを行っている

2 概ね基準を満たしている

1 基準を満たしておらず改善が必要

評価項目1 教育理念・目的・目標

(1) 評価

評価項目		評価(3～1)	
1	教育理念、目的及び目標の設定など	教育理念等を踏まえ、目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

毎年、教育理念・目的・目標を確認し、教職員及び学生に明示していく。

評価項目2 教育課程、教育の実施、学修成果

(1) 評価

評価項目		評価(3～1)	
1	教育課程の編成と授業科目	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置しているか。	3
2	教育の実施	授業課目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っているか。	3
3	単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む。）を学科ごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしているか。	3
4	学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科ごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できているか。	3
		学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

次年度より成績評価の見直しに取り組むとともに、引き続き教育の充実に努めていく。

評価項目3 学生の受け入れ、学生支援

評価項目		評価(3～1)	
1	学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定しているか。	3
		学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っているか。	3
2	自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っているか。	2
3	多様な学生に対する支援	適切な体制を構築し、障がいのある学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っているか。	3
4	学生生活に関する支援	カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営しているか。	2
		留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っているか。	2
		学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用しているか。	2
		学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか。	3
		学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

自主的な学習の促進に対する支援に対しては、シラバス作成を充実させることが重要と考え、授業の内容を事前に伝えることで、どのような自主学習が必要なのか考える材料とする。

A0入試や指定校推薦入試には筆記試験がないため、入学前の学習状況の把握は高校からの調査書だけとなっている。入学前の教育として、課題提出などの必要性があるかなど検討していく。

人間関係で悩んでいる学生が多く、相談前に退学を決めるケースもあるため、悩みアンケートや、個人面談で早期に解決策を見つけることが必要と考える。

今年度から相談事やご意見をQRコードから投稿できる試みをしたが、真の悩みについての相談はなかった。

現在は学生の相談には教員が親身に対応しているが、カウンセラーの配置なども今後の課題として考えていく。

評価項目4 教育実施組織・教員

評価項目		評価(3～1)	
1	教員の配置、募集、採用	教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用しているか。	3
		教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価しているか。	2
2	教員の組織編制等	学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めているか。	2
		教員間で連携、協力体制を構築しているか。	3
3	教員の資質の向上	学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

学生からの授業アンケートにより、教員の専門性や教授力の把握をしている。アンケートを取るだけでなく、それをフィードバックすることにより、教育の向上を図る。
新採用の教員も増えることから、これまで以上に研修会への参加の支援や技術向上の勉強会に力を入れ、教員の資質向上に努めていく。。

評価項目5 教育環境

評価項目		評価(3～1)	
1	教育環境の整備	教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えているか。	2
		学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備し、学生の休憩、食事のためのスペースを確保しているか。	2
		図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしているか。	3
2	安全対策、防災組織	学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っているか。	3
		火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営しているか。	3
3	施設・設備等の点検、改善等	施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っているか。	3
		施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施しているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

学生の休憩、食事のための予備スペースの確保は困難だが、くつろげるスペースを整備したり、できることから取り組んでいる。
学校安全計画を策定しているが、内容をもう少し細かく定めるよう改善していく。
これまで通り、施設・設備等の日常点検は重要と考え、不備があれば即対応していく。

評価項目6 教育活動の基盤と改善・向上の取り組み

評価項目		評価(3～1)	
1	中期事業計画と財務基盤	学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられているか。	3
		学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか。	3
2	学校運営	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われているか（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）	3
3	学校評価の実施と改善活動	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を学校の運営やその改善・向上において活用しているか。	3
		学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表しているか。	3
		学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っているか。	3
4	社会からの理解と情報の公表	学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表しているか。	3
		教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいるか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

さまざまな学生募集の取り組みにより、現在の教育活動の基盤は安定しているが、今後少子化の影響を受けることは間違いなく、常に選ばれる学校になるような努力を続けていく。
また、近年入学定員を確保できているが、退学者増加のため総定員充足には至らない。学生を育てていくために、多様な学生に対応できるよう努めていきたい。